

# わたしがわたしになる学校



令和4年3月25日 発行責任者 校長 竹下 比登美

## 一年間の締めくくりに～修了式の言葉～

学校長が、修了式に、「自分の人生を創る本物の学力を身に付けること」について話をしました。

府小っこのみなさん、おはようございます。今、5年生の遠藤さんのすばらしいスピーチがありました。5年生には、「志の教育」のスタートということで、私から宿題を出していましたね。宿題ははかどっていますか？6年生になった4月には、修学旅行のコースをどのようにするのかプレゼンをしてもらいます。5年生がどんなプレゼンを考えてくるか楽しみにしています。

さて、季節はすっかり春。あと2週間もすると、学年が一つ進みます。新しい学年に向けてあなたはどんなことをしてみたいですか。自分のやりたいことを見つける、それをやり続けていくうちにある程度、「あの子はああいうことが好きなんだね、ああいうことを一生懸命やっているんだね」と周りからも承認してもらえる、頑張っている自分に自己肯定感が高まる、自己肯定感が高まると自律できるという、この繰り返しが人生ということですよ。

そして、自分のやりたいことを目に見え活動や内容にしていくには創造力が必要です。この創造は創り出す方の創造です。そして、その創造力の基になるのが学力です。何度も私の話を聞いているみなさんは、私の言う学力が、テストの点がいいとか、丸暗記したとか、テストの解き方を身に付けたとか言うことではないと知っていますよね。それは学力のほんの一部です。

勉強することは、本物の学力を身に付けるためです。本物の学力が身に付いている人は、創造力があります。クリエイティブです。そして、自分の意志で正しい判断することができます。正しい判断ができると自信がつきます。自信がつくと人真似に頼らないので、もっと創造力が高まり、クリエイティブになります。結局、勉強することは、自分という人間を創ること、自分の人生を創ることです。

4月に向けて、本物の学力を身に付けるために自分は何をするのか考えてみてください。今日は、1年間の締めくくりの日です。1年間いろいろなことがあったと思いますが、人は、別れ際はきれいな気持ちで別れるものです。担任の先生、学級のお友だち、みんなに「ありがとう」を言って別れましょう。



# 一年間を振り返って～修了式児童代表の言葉～

今の学年も今日で終わりを迎えます。今年度も新型コロナウイルスの影響で、行事がなくなったりしましたが、消毒や手洗い、うがいなどの感染症対策や、コロナ禍の中でもできることを考えて実行することで無事に1年を終えることができましたと思います。

私は、今年1年で粘り強く頑張ったことがあります。それは、あいさつです。1年前は少し仲の良い友達にあいさつするだけで、あまり男子と話をせず、どうやって仲良くなれるか悩みました。しかし、今年度の学級の人たちに、しっかりあいさつするようになると相手もあいさつを返してくれるようになり、普段でも話をするようになりました。あいさつをすることで、人とつながり、友達が増えて学校生活が前よりも楽しくなりました。友達が増えてからも変わらずあいさつを続けました。先生や友達、学級の仲間、他の学級の人たちにも自分から進んであいさつしました。たった一言「おはよう」とあいさつするだけで、こんなにも自分を取り巻く世界が変わるということを実感できた1年間でした。あいさつは魔法の言葉、これからも、最高学年の6年生になっても府小っ子として毎日、粘り強くあいさつしていこうと思います。

また、3学期には「校風を受け継ぐ」というテーマで学習し、自分自身を成長させることができました。先生方や6年生にインタビューをして、校長先生からお話を伺いました。4月からの私たちに期待されていること、リーダーとして大切なことについて深く考えることができました。そして、伺ったことをもとに、来年度最高学年としてスタートするために自分の「志」をスピーチしました。友達が考えていることもとても参考になりました。わたしがわたしになるために、一生懸命勉強し、仲間とともに過ごすことで、自分の根っこを深く、太く、広くしていこうと思います。この学習を通して、自分の頑張ることがはっきりとし、最高学年としての心構えができました。

来年の今頃、私たちはこの学校を卒業しています。その時に、みなさんに、自分たちの思いは十分伝わったと自信をもって言えるように、4月からあいさつと優しい心を大切にして頑張っていきたいと思っています。

児童代表 5年 遠藤 綾乃

## 学校運営協議会を開催しました

令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、紙面にて学校運営協議会を開催としました。委員の皆様今年度の学校の取組結果について説明をし、ご意見をいただきました。委員の皆様からいただいたご意見の一部をご紹介します。

- 教師と保護者のそれぞれの立場からの指導によって、子供の読書力、そして人間力が育てられていることが、これまでの資料を見て分かりました。特筆すべきは、「学校まるごと図書館」として、図書環境を整え、調べ学習や読書がいつでもどこでもできるようになっており、各教科指導の基盤となっていることです。子供というのは良いことがあると分かれば活動が始まり、そうでなければ、それを喜びとする教師や保護者がよりよい指導を始めるものです。もう一点すばらしいのが読書活動によって、語彙力をつけ、その先の思考・判断・表現を目的として活動を組織されていることです。思考力がつけば、知識・技能も定着し、主体性につながり、子供は伸びます。これまでの子供の文章や話し言葉を見て、人間力が培われて伸びていると確信しました。
- 今年度も新型コロナウイルス感染症拡大のため、活動を制限される中、PTA が協力し、読書活動等いろいろな取組をされていることに感心いたします。府中小学校の取組を、図書館を通じて、地域の方々へ発信したいと思っています。
- この度は、博報賞・PTA 文部科学大臣賞受賞おめでとうございます。「身近なところで読書ができる活動は、本を通じて言葉の意味を知ることのできる素晴らしい取組であると感心しております。これからも、読書活動やゲストティーチャー等の特色ある教育活動を応援しております。
- 評価指標が具体的でかつ数値で示してあるので、客観的にも分かりやすく良い。取組が点や線ではなく、双方向や面での学びなので、全体を押し上げている。「子供と向き合う時間」「業務で得られる充実感」について、長期スパンで漫然と振り返るのではなく、週一ペースで振り返り、次週への行動につなげることの繰り返しが「94.3%」という高評価で現れている。素晴らしい！図書館テキスト内の「親子読書」欄は、同じ本を読んでお互いに感想を話すことで、家庭内の会話も増えるし、自身とは異なる感想に触れることもでき、よい取組である。機会があれば、学校だより等で紹介したら、親子読書のより一層の波及につながると思う。  
→ありがとうございます。ホームページの「読書活動コーナー」に掲載しました。

いただいた貴重なご意見を、学校運営に生かしていきたいと思っています。



# 家庭でも根っこ育て～春休みはルールを守り心と体を整えて～

修了式の後、子供たちへ生徒指導主事が、春休みに気を付けてほしいことを話しました。

- ①子供だけでお店や校区外に行かない
- ②インターネットを正しく使う，ゲームをしすぎない
- ③自転車の乗り方  
～スピードを出しすぎない，道路幅に広がって乗らない～
- ④道路でキックボードに乗らない，ボール遊びをしない
- ⑤お金の貸し借り，おごったり，おごられたりしない
- ⑥火遊びをしない
- ⑦子供だけで川や海には行かない
- ⑧家に帰る時間 3月31日まで→17：00までに帰る  
4月 1日から→18：00までに帰る

**ルールは  
自分や周りの  
人の命を  
守るためにある！  
自分で正しく  
判断しよう！**

春休みは、気候が過ごしやすくなり、開放的になりがちです。期待が高まる反面、不安定にもなりやすい季節です。コロナウイルス感染症に気を付けながら、ご家庭で、なぜルールがあるのかも含めて、ルールを守ることについて、今一度お話しください。そして、新学期、元気な姿で出会えましょう、心と体を整えてください。

## 6年生の卒業を祝って

校内は今、6年生や在校生の進級を祝う温かい気持ちであふれています。卒業を祝う会は各学年からのビデオメッセージで、お別れ朝会は Meet で行われ、校内は卒業を祝福する掲示でいっぱいです。各学年それぞれが工夫して表現した思いは6年生児童にしっかりと伝わったことと思います。全ての児童がこの温かい気持ちを持ちながら、一学年進級し、新しい一歩を踏み出してほしいと願っています。卒業おめでとう！進級おめでとう！



## おめでとう！読書貯金優秀賞表彰式

府中小学校では、「読書貯金通帳」に読んだ本の記録を記入しています。この「読書貯金通帳」は、まるで貯金のように「読んだ本が貯まる」のが分かります。この「読んだ本が貯まる」様子を楽しみに読書に励む人が増えています。そして、様々な本に触れようとする意欲をさらに高めるために、この1年間でたくさん読書をした児童を表彰しました。来年度も、府中小学校の子供たちが素敵な本に巡り合えますように。





# ボランティアの皆様、ありがとうございました

コロナウイルス感染症防止のため、活動期間や内容を工夫していただきながら常時62人のボランティアの方に府中小学校の教育活動を支えていただきました。今年度もたくさん支えてくださったお礼に、全校児童がボランティアの皆様へ感謝の手紙を書きました。

## 図書ボランティアさんへ

この1年間ありがとうございました。私は、この1年間でたくさんの本と出会いました。私は「未知との遭遇」「創造の森」が好きです。なぜなら、部屋の飾りつけがおもしろいし、かわいいので、本が読みやすいです。私は今年も本をたくさん読みたいです。これからもよろしくお願ひします。



## フラワーボランティアさんへ

お花を植えてくださってありがとうございました。さっそうを取ってくださってありがとうございました。いっぱい花をさかせてくださってありがとうございました。



## 掃除ボランティアさんへ

いつも府中小学校の掃除をしてくださってありがとうございます。すみずみまで掃除をしてくださったおかげで、いつも府中小学校がきれいとても気持ちよくなります。ほくたちも見習ってすみずみまで掃除をしてきれいにしていきたいです。



## 松の剪定ブックスタンドボランティアさんへ

ブックスタンドを手作りして本を見やすくしてくださったり、松をきれいにしてくださったりしてありがとうございました。おかげでぼくはいろいろなジャンルの本に興味をもち、読書に親しむことができました。中学生になっても、本に親しみ頑張っていきます。



## 読み聞かせボランティア「ひだまり」さんへ

いつも、金曜日の朝、その学年にあった本を選んでくださってありがとうございます。読み聞かせをしてもらうと、自分で読むのとは違う楽しさがあり、次はいつかなと待ち遠しいです。来年もよろしくお願ひします。



## 府小っ子見守り隊の皆さんへ

いつもあいさつをすると、時間を教えてくださってありがとうございます。心から感謝しています。とてもいい気分です。小学校に行っています。私たちは、見守ってくださっている人がいるので安全に通うことができます。これからもよろしくお願ひします。



また、PTAの保護者の方には、「学校のために、今できることを！」とアイデアいっぱいの活動を行っていただきました。いつも支えていただき、ありがとうございました。



はばたけ府小っ子応援プロジェクト



6年テント一式寄贈



さわやか挨拶運動

## 令和4年度に向けて

一年間、府中小学校の教育方針や教育活動にご理解・ご協力いただき有難うございました。コロナ禍の中、PTA役員をはじめとする保護者の皆さん、たくさんのボランティアの皆さんのご協力のおかげで環境が整い、子供たちは安心して学校に通うことができました。

学校は保護者の皆さんと想いを伝え合いながら教育活動を進めたいと思っています。来年度も双方向で子供たちを育てていきたいと思います。学校と家庭がつながっていることで、子供たちは伸び伸びと学ぶことができます。よろしくお願ひします。



## 令和4年度府中小学校主な行事予定

4月 6日 (水)	就任式・始業式 (6年のみ給食有)
7日 (木)	入学式 (6年のみ給食有)
8日 (金)	全学年給食開始
16日 (土)	P T A総会
16日 (土)・18日 (月)	学年始希望個人懇談会 (午後)
28日 (木)	遠足 (弁当・水筒持参)
5月 2日 (月)	振替休業日 (4/16分)
5月21日 (土)	運動会
23日 (月)	振替休業日 (5/22分)
7月 9日 (土)	個人懇談会
20日 (水)	1学期終業式
9月 1日 (木)	2学期始業式
10月11日 (火) ~ 12日 (水)	野外活動 (5年)
24日 (月) ~ 25日 (火)	修学旅行 (6年)
10月31日 (月) ~ 4日 (金)	府小っ子ぐんぐんウィーク
12月10日 (土)	個人懇談会
23日 (金)	2学期終業式
1月10日 (火)	3学期始業式
3月17日 (金)	卒業証書授与式
24日 (金)	修了式・離任式



これはあくまでも予定です。

コロナウイルス感染症の状況等により、今後、行事及び日程が変わることがあります。  
ご了承ください。